

☆ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

178号



2016年3月31日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

○ 中央図書館移転の顛末

3月14日(月)18:30分から地域センターで、第7回中央図書館区民説明会が開かれ、「中央図書館基本構想(案)」は三月中に決定され、平和公園への移転に向けての調査・設計案等に7,100万円の28年度予算を計上するとの話がありました。

中央図書館が、平和公園に移転し建設されることに対しての、近隣住民との折り合いが取れていない状態での予算計上は、もう住民の反対を無視する構えなのではないでしょうか？

又、基本構想の検討に当たって、学識経験者、区民利用者代表、図書館司書等を委員とする検討会を設置し、構想(案)の検討を進めてきたと言っています。その検討会に、反対している住民は入っていません。検討会に集まっている方達は、平和公園への移転に反対している経緯を知っていたのでしょうか？

構想(案)だけを検討するならば、移転に反対の住民も賛成でしょう。図書館のあり方に反対しているのではなく、平和公園の敷地を削って建設する事に反対なのですから。

最後の締めくくりで、教育委員会事務局次長は、ハッキリと平和公園への移転に変更は無いと言っていました。一体、この7回の説明会は何だったのでしょうか？ この様な住民の意向を無視した、旧態依然とした物事の進め方は、世間に、板橋区の恥をさらす事になるのではと心配です。

3月25日(金)図書館長と会い、図書館跡地の利用法について、①小規模でも図書館機能を残す、②地域センターは必要ない ③今後方針が勝手に決められるのではなく、早めに地元住民との話し合いを行う等の検討をお願いしました。

N

○ 「常盤台」と「ときわ台」

常盤台は東武鉄道の住宅分譲に伴って作られた地名です。そのいわれは天祖神社がそばにあり、神道で唱える祝詞に「常磐、かきわに」と云う言葉があることから、と言う説が流布しています。「ときわ」は常(とこ)磐(いわ)であって、盤石の意味から常盤の字も使うようです。駅名は「武蔵常盤駅」から「常盤台駅」となり、更に表記が「ときわ台」と変わったのですが、「常盤」を読めない人への配慮だったのでしょうか。

地名としての「常盤台」と、駅名としての「ときわ台」が区別されていない場合もあるように思われます。しかし、平仮名の方が読みやすく親しみやすいので使っているのかもしれませんが。

私達の会も当初「ときわ台の景観を守る会」の表記でしたが、地名が「常盤台」なのに、駅名の「ときわ台」を使うのはおかしいという意見が出て、今では「常盤台の景観を守る会」としています。

○ 「私の終わらない旅」上映

全国景観市民ネットが主催で、環境問題に関する活動の一環として、坂田雅子監督の映画「私の終わらない旅」が上映されます。

7月というまだ先の話ですがお知らせしておきます。

時 7月9日(土)13:30~15:00

所 泉の森会館(小田急線狛江駅2分)

利点はまことしやかに語られてきたが、廃棄物の処理もできず、事故の後始末もできない、人類を滅亡に追いやる危険をはらんでいる核エネルギーについて考えさせるドキュメンタリー映画です。

桜 三題

夢の桜並木

バスの通る中央の道は、常盤台の中で一番広い道路です。両脇に歩道があり、一丁目と二丁目を分けています。歩道にはツゲの植え込みがあり、サルスベリが点々と植えられています。なぜか育ちが悪く、夏の木陰を作るに至っていません。

この通りを景観重点地区にふさわしく、桜並木にしてはどうでしょうか。どこにもあるソメイヨシノではなく、特別な桜の並木道にしたら常盤台に楽しみが増えます。例えば黄緑色のウコンとか、八重桜とか。または一本一本違う桜の並木とか、ここに来れば桜の種類が殆ど見られるような桜並木になったら素敵でしょうね。

ウコンの桜

常盤台にもウコン桜があります。うす緑色の綺麗な花です。SB通りに面した二丁目の昔からの魚屋さん、「魚猛」さんの裏手に一本あるのです。余り知られていないようですが、ぜひ見に行ってください。ソメイヨシノより遅咲きだそうです。

北口公園の枯れていなかった？桜

初代の植樹が失敗し、二代目も枯れているのではないかと思われるいた北口公園のオカメ桜が、なんと生きていて、三月初めに咲きました。実は三代目だという人もいるのですが…

早咲きの桜はオカメ桜を始めとして河津桜や熱海桜、などがあり、二丁目のTさんの庭には十月桜とおぼしき桜が、毎年、冬に咲いています。

全国景観市民ネット定例会

常盤台で行われる

二月一三日(土)午後、景観市民ネットの定例会がいつもの国領での会場を常盤台に移して行われました。駅舎を見てから宮澤邸を外から見学、守る会の運動で撤去された小学校脇の暫定駐輪場跡を見ながら、公園やクルドサックを廻って、簡単な街歩きをしました。会議では各地の状況が報告されました。国立では上原元市長個人への不当な賠償請求に対して、住民投票で国立市民に訴える動きが出ています。小石川植物園では道路拡幅などで大事な樹木が伐採される問題が起きています。一見常盤台には無関係な他の大きな問題にも、常に目を向けていなければならないと思います。

「日本と原発 四年後」上映会

三月十一日(金)一八時一五分から、弁護士河合弘之さんが製作した映画「日本と原発四年後」の上映会が文化会館大ホールで行われました。小泉純一郎氏が三十分ほど簡単に講演、相変わらずの雄弁をふるって、脱原発を訴えています。上映後は河合監督が挨拶で登壇しました。原発関係の訴訟にも詳しいので、解説は説得力がありました。再稼動賛成派もぜひ見て欲しい映画です。

些細なことですが、河合さんの襟に付けられていた様々なデザインの動物のバッジに興味がかれました。イモリ、テントウムシ、トンボ、クモ、カエル、などのバッジが様々な場面で襟元を飾っていました。当日はテントウムシでした。

常盤台公園のはなづくり

この季節になると、チューリップが咲きだしたのを横目に、芝生の中に生え出した雑草退治が必要になってきます。去年は油断をしていたら、タネツケバナが大群生となってしまったので、今年は重点的に早めに抜くことにしました。

タネツケバナは本当に可憐な白い一ミリにも満たない花を付け、葉はレースのような繊細さで、一株が大きくなったところは、ふわふわのスカートをまとった王女様のような感じです。しかし、見とれている場合ではありません。ちよつと葉を広げたぐらいの赤ちゃんの時から直ぐ花を付け、それが種を飛ばす前に抜いてしまわないと、あつという間に世界制覇を遂げてしまうのです。

オランダミミナグサも枯草色の芝生の中で、点々と緑の葉をのぞかせて目立っているのです。今の時期が抜くのに都合が良いのです。

角の花壇のクリスマスローズが残念ですが盗掘されています。区民として悲しい体質と言わざるを得ず、チューリップも沢山あれば一本ぐらい、と思われなにか、咲く前から心配です。桜は四月二、三日ごろ満開、チューリップはその一週間後から花時になるはずで、公園が一番輝いている時期です。